

**みやぎNPO夢ファンド（A）組織開発（人材育成を含む）支援プログラム**  
**平成21年度助成事業 最終報告書**

平成22年 4月 30日

<b>団体名</b>	特定非営利活動法人 せんだい杜の子ども劇場		
<b>事業名</b>	ママパパライン仙台 電話受け手ボランティア養成事業		
<p>助成金を使って行った研修事業について、具体的にご記入ください。          （事業の様子の写真や、関連資料などありましたら、あわせてお送りください）</p>			
	1. 養成講座講師選定・依頼		平成21年8～9月
	2. 養成講座受講者募集チラシ・ママパパライン仙台チラシ	計 15,000 枚作成 約 500 箇所配布（宮城県内各市町村健康福祉課・児童館・社会福祉事務所・子育て支援センター・仙台市内市民センター・みやぎ生協各店舗・のびすく3館・他子育て支援関係団体）	平成21年9～10月
	3. 養成講座実施		
	11月11日	A) ママパパライン仙台の役割 B) 子どもの虐待の現状と対応	(8名受講) (16名受講)
	11月19日	C) ママ達の気持ちに寄り添う D) 子どもの心と親の心	(13名受講) (14名受講)
	11月26日	E) 小児科医から見た最近の親子事情	(18名受講)
	12月 2日	F) 障害児支援で大切にしたいこと G) 保健福祉センターの子育て支援	(17名受講) (11名受講)
	12月 9日	H) 自分を知る I) 傾聴とロールプレイ	(20名受講) (15名受講)
	全養成講座終了		(受講延べ人数：132名)
	5. 受け手ボランティア希望者の面接（5名）		平成22年1月14日
	6. 受け手ボランティア希望者の研修		
	(1) 電話内容の研修		平成22年2月18日・3月11日
	(2) 実技研修		1～3月の金曜日随時

## 養成講座の様子



当初の成果目標はどの程度達成できましたか。当初目標と比較して記入してください。

### ●申請書に記載した成果目標

- ①養成講座を開催し、受け手を増員したい。新規受け手5名を養成し、毎回受け手2名を確保したゆとりあるシフト体制を作る。
- ②養成講座で学び直すことにより、受け手の質を維持・向上させる。
- ③「チームで電話を受ける」という意識を強めたい。受け手全員で養成講座を受講することにより、共有・共感意識が高まる。

### ●目標の達成度・団体に与えた効果

- ①ママパライン電話受け手ボランティア希望者5名の申し込みが得られた。
- ②従来の受け手ボランティアのスキルアップ研修が出来た。
- ③受け手全員で養成講座を受講し、問題に対して共有・共感し、「チームで電話を受ける」という認識を強めることが出来た。

<p>④他の子育て支援事業に関わるスタッフが、養成講座に一般受講生として参加することにより、子育て支援事業の基本姿勢を再確認できる。</p> <p>⑤一般受講者だけでなく、受け手希望者よりも参加費を徴収し、収入源を確保していく方向性が見えてくる。</p>	<p>④ ママパパラインのほか、当法人が行っている子育て支援事業に携わっているスタッフ、および指定管理事業榴岡児童館職員のスキルアップ研修が出来た。相手に寄り添う、尊重する、傾聴という姿勢の大切さを確認できた。</p> <p>⑤一般受講者・受け手希望者及び従来の受け手ボランティアからも参加費を徴収し、収入源の確保につなげることが出来た。自己負担をすることによって、受け身ではなく、自らが自己研鑽するという意識が高まったのではないかと思う。</p>
<p>今回の事業を、今後どのように展開していきますか。また、その際に必要なものは何ですか</p> <p>①新たな受け手ボランティアの補充と、同時にこれまでの受け手ボランティアの研鑽も兼ねることができ、「ママパパライン仙台」の常設を強化することが出来たが、まだまだ十分余裕のある人員ではないので、今後も引き続き集中的に行う養成講座を開催し、受け手の増員が必要と考えられる。養成講座の開催は受けての募集やスキルアップのみならず、子育て支援に関わっている団体やグループからの研修の場として活用されてきている。繋ぐ場づくりも視野に入れてみたい。</p> <p>②養成講座を広く呼びかけることは、「傾聴の文化」の大切さの周知につながり、子育て支援の立場からできる世の中の閉塞感の突破口として、社会へ投げかけたい。</p> <p>①と②を展開するためには、講座受講だけでなく、終了後、情報交換等を含む定期的な交流会を継続する必要がある。</p>	

助成金の使途内訳（具体的に記入してください）

#### 収入の部

項目	予算（円）	決算（円）	備考
みやぎNPO夢ファンド助成金	250,000	250,000	
参加費	41,000	58,800	ボランティア希望者:3,000 従来のボランティア:2,000
自己負担金	25,000	19,794	
合計	316,000	328,594	

#### 支出の部

項目	予算（円）	決算（円）	備考
講師謝金	140,000	140,000	講師7名の謝金

講師交通費	72,000	29,500	講師交通費
スタッフ交通費	15,000	18,010	打ち合わせ等
印刷費	40,000	67,850	チラシ・資料等作成印刷
郵送費	24,000	24,823	切手・メール便等
会場費	15,000	24,000	講座・研修会等
雑費	10,000	24,411	事務用品等
合計	316,000	328,594	

寄付をいただいた方へのメッセージをどうぞ

近年の子育て実情から、「ママパライン仙台」のような養育者の気持ちに寄り添い、共に考える活動の重要性をますます感じています。

今回の養成講座実施により、新たな電話受け手の養成及び従来の受け手・子育て支援事業実施スタッフの研鑽を重ねることが出来ました。このことは、現社会の中で当団体が担っていく役割（NPOの子育て支援）の更なる充実と新たな展開に繋げることが出来ました。

ありがとうございました。